



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 「新しいワイズダムを築こう イエスの教えのもとに」
 アジア会長標語 「一粒の種となろう」
 西日本区理事標語 「(夢を語り未来を創造しよう) -クラブビジョンを語ろう-」
 中部部長標語 「参加することを楽しみを見つけよう Enjoy Your Commitment」
 クラブ会長標語 「10周年に向けて、再度団結しよう」

2001年10月号

< 今月の聖句 >

天は神の栄光を物語り 大空は御手の業を示す。昼は昼に語り伝え 夜は夜に知識を送る。話すことも、語ることもなく 声は聞こえなくても その響きは全地に その言葉は世界の果てに向かう。

詩篇19

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2001年10月例会ご案内

第一例会

と き : 10月9日(火)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM6:45~

卓 話 : 「子供地の生活を通してフィリピンの支援を考える」

-- マニラ及び近郊の様子から

講 師 Maria Bueno マリア ブエノ氏
 現在日本人男性と結婚して、英会話講師をしています。ルソン島出身

家の事情で8時には帰らないといけませんので
 今回の例会は6時45分集合とします
 7時から卓話のスタートとします。

ドライバー : 加藤

第二例会

と き : 10月23日(火)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM7:00~

10周年委員会

その他

YMCA バザー

と き : 10月14日(日)
 と ころ : 名古屋YMCA会館
 第一例会に提供品の持参をお願いいたします。
 合わせてバザー券の入金もお願いいたします。

9月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(9月)	
	在席者	24名	第1例会	16名	当月・切手		ニコBOXノート	
例会出席者	20名	第2例会	12名	当月・現金		感謝ファンド		
当月出席率	83.33	部 会 他	1名	累 計		累 計	9690	

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

= 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

第一例会報告

今回は先月のホームステイ記事に押しやられた格好となっていました 8 月の第一例会の報告もあわせて掲載しました。

8 月第一例会

グランパスの新年度方針にあるフィリピンワーク支援シリーズ第一弾として、カガヤンバリー Y M C A 総主事のドミナドール カローニア氏より「フィリピンのお話」と題してフィリピンの実情等のお話を伺いました。その後ドライバーであり通訳をしていただいた佐藤兄のもとにドミナドール カローニア氏からメールが届きました。この内容こそ例会での彼とグランパスとの意見交換を表したものと思いますので、佐藤兄の了解を得て掲載し報告と致します。



YMCA of Cagayan Valley, Inc.
2nd Floor, People's Gym.
Tuguegarao City
September 10, 2001

Dear Sato-San:

Warm Christian Greetings from the YMCA of Cagayan Valley, Inc.!

Konbanwa.DomoArigatoGozaimasu,Ogenkidesuka! Domo Gosinsetsu ni Arigato.

Thank you very much for your kindness and in giving me the rare opportunity to be your guest during your Y's Men's Club Meeting on August 28, 2001. Indeed, I enjoyed being with the Granpus Y's Men's Club members.

Well, after my arrival from your beautiful country, I met the senior officers of the YMCA of Cagayan Valley, Inc. and I reported to them all

the warm accommodation, hospitality and the kindness that was extended to me during my stay in your country. I also informed them of

your desire to assist our YMCA in pursuing its mission and vision specially in helping the poor people in our country.

After thorough consultation, I was able to convince them to organize the Y's Men's Club of Cagayan Valley.

In due time we will be organizing the Y's Men's Club and we will be inviting you as our guests of honors during the said activity. We will inform you of the exact date and time as soon as the Club is organized so you can plan and make preparations in your coming to our YMCA.

Please extend my regards to the members of the Grandpus Y's Men's Members especially of the President and officers of the Club.

Thank you very much and we look forward to your visit in Tuguegarao City, Cagayan.
Very truly yours,

DOMIE-SAN
General Secretary
YMCA of Cagayan Valle

(佐藤翻訳)

「こんばんは。どうもありがとうございます。おげんきですか？どうもご親切にありがとう」(ローマ字で)

ご親切、本当にありがとうございました。そして、2001年8月28日の会議の時にはゲストとしてのめったにない機会をいただきありがとうございました。Y'sのメンバーの方と、本当に楽しく過ごすことができました。

美しい国、日本からに帰国後、YMCA Cagayan Valley の上司の役員と会い、日本で受けた暖かい待遇と親切を報告しました。また、私たちの YMCA が行っている、特に貧しい人への援助の使命と見通しの追求について、手伝いたいというあなたたちの願望も伝えました。

この相談会を一通り終え、私は、Y's Men's Club of Cagayan Valley の設立を納得させることができました。

順を追ってクラブを組織し、前記の活動にオーナーゲストとしてご招待します。私たちの YMCA に着ていただく計画が立てられるように、クラブが出来次第、ご連絡します。

では、メンバーの皆様、特に会長や役員の方によりしくお伝え下さい。

本当にありがとうございました。そして、Tuguegarao City, Cagayan でお会いできることを楽しみにしています。

9月第一例会

「名古屋の中のフィリピン」

講師：名古屋学生センター主事 池住 圭氏



「国際子ども学校」それは在日フィリピン人の子どもの学校です。

この子どもたちは「無国籍」という非保障の社会の中で生活し全ての社会の中で生きているのが現状です。生きる力が養われていないつまり「言葉」がない、タガログ語も、英語もそして日本語も不十分、だから思考力、つまり人を思いやる気持、生きる意欲が欠如している。

そこで一緒に集まる場所として93年4月開始。最初は5分とジーンとしていない、つまり勉強するというのを理解していなかった。また彼らが発することは「殺すぞ」「入管に行け」いかに不安定な生活の中で生きてきた証の一つでもあります。

あるとき、子どもたちに今何がほしいと聞いたら「ID」がほしい、それは自分の身分がほしい。そこで手作りのIDカードを作り渡すと大変に喜んだ、所属する場所、歓迎してくれる場所がそこにあることの喜びである。

このような在日フィリピン人の問題はフィリピン日本の政治的、経済的な開発援助政策の悪循環がこのような状況を引き起こしている。

この国際子ども学校はもちろん無認可でボランティアと寄付金によって運営がなされている、子どもたちは不法滞在の形となりいろいろな問題を抱えている、一例として子どもたちの住所、学校の所在地も公表していない、何が起こるかわからないからである。ただ学校の地域の人たちには少しづつではあるが理解を得て、暖かく守れるようになってきたことはうれしいことである。

私たちの活動はすぐに解決できるものではないが子どもが生きる権利、教育を受ける権利の実現に向けて多方面に働きかけていきたい。

参考：川崎市、横浜市、大阪等はこのような子どもを受け入れているが名古屋市は体のよい理由で受け入れを拒否している。

文責：吉田正

楽しみましたか？根の上まつり

2001年9月16日(日)



天気もよかったし・・・お疲れ様でした。